



1「家が代々続くように」という願いが込められた橙(だいたい)は燃やす前に外します **2**火をつけるとあっという間に燃え広がります **3**残り火で焼いた餅を食べるとその年の病を払うと言われます



いちねん ^むびょう ^{そく}さい ^{ほのお} ^{ねが} **一年の無病息災を、炎に願う。**

1月11日(土)、竜岩自然の家で「ほっけんぎょう」が行われ、約40人が参加しました。

竹などで組んだやぐらに門松やしめ縄を積み、無病息災などの願いを込めて火をつけます。すると、熱で膨張した竹が爆発し「パーン」という大きな音が宝満山や大根地山などの山々に反響します。

地域でも「ほうげんぎょう」「どんど焼き」などの名称で古くから続く伝統行事。1月には願いが込められた炎を市内各地で見ることができました。



筑紫野市ホームページ
<http://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>



筑紫野市フェイスブック
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>